



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

3月27日 県民投票条例制定を求める請求署名の提出集会が開かれ

143,196筆 新潟県に本請求



3月27日 300人が集まった署名提出集会

3月27日、新潟県自治会館講堂に全県から請求代表者・受任者・市民等300人余が集まり、「柏崎刈羽原発再稼働の是非を県民投票で決める」県民投票条例制定を求める請求署名(有効署名143,196筆)を持ち寄り、提出集会が開かれました。

水内基成県民の会代表が主催者あいさつ。重川隆広県議、馬場秀幸議員が来賓あいさつし、長野県から参加された大沢さんが激励のあいさつ。その後、



県の担当者に143,196筆を提出



参加者は署名を抱え県庁へ

各地の活動報告となり、トップバッターで登壇した長岡の会メンバーはプラカードを掲げ、小木曾茂子さんが代表して取り組みを報告しました。

集会の後、参加者は県民の思いが詰まった署名簿を抱え、自治会館から県庁までアピールしながら歩きました。長岡の署名簿は重くて台車で運びました。

花角知事に面談し要請

3月28日、県民の会代表は花角知事に面談し寄せられた14万筆の県民の声を届けました。

「知事はことあるごとに『県民に信を問う』と述べています。県民が賛成、反対の意思を表明できる、県民投票条例案が可決されるよう積極的な意見書をつけて県議会に提出してい

ただきたい。」

4月16日からの臨時県議会で審議されます。皆さん、傍聴に行きましょう。



3月28日 花角知事に直接要請する会代表(TVニュースより)

遠藤れい子の笑顔でファイト

ラフ大地震のリスクと共存しながら観光に力を入れていくことが感じられます。

旅するあちこちに津波マップが設置され、注意喚起がされています。南海トラフ大地震のリスクと共存しながら観光に力を入れていくことが感じられます。

観光地はあちこちに「地震・津波注意！」の看板



一緒にツアーに参加した女性たちは「原発の直接請求署名をたくさん集めた。」「原発は反対。あんなに危険なもの孫に渡されたい！」とおしゃべり。署名の広がりを感じました。